

# 花とあかり

小川未明

青空文庫



母<sup>はは</sup>ちようは子<sup>こ</sup>ちようにむかつて、

「日<sup>ひ</sup>が山<sup>やま</sup>に入りかけたら、お家<sup>うち</sup>へ帰<sup>かえ</sup>つてこなければいけません。」とおしえました。

子<sup>こ</sup>ちようは、あちらの花<sup>はな</sup>畑<sup>はたけ</sup>へとんでいきました。赤<sup>あか</sup>い花<sup>はな</sup>や青<sup>あお</sup>い花<sup>はな</sup>や、白<sup>しろ</sup>い、いい香<sup>にお</sup>いのする花<sup>はな</sup>がたくさん咲<sup>さ</sup>いていました。

「これはみごとだ、うれしいな。」といって、花<sup>はな</sup>から花<sup>はな</sup>へとびまわつて、おいしいみつをすつていました。そのうちに日<sup>ひ</sup>が山<sup>やま</sup>へはいりかけました。けれど、子<sup>こ</sup>ちようは、むちゆうになつて花<sup>はな</sup>をとびまわつていました。

「やあ、暗<sup>くら</sup>くなつた。」と、子<sup>こ</sup>ちようはあたまをあげますと、これはまたどうしたことでしよう。あちらにも、こちらにも、うつくしい水<sup>みづ</sup>のたれそうなみどり色<sup>いろ</sup>の花<sup>はな</sup>や、青<sup>あお</sup>い花<sup>はな</sup>が咲<sup>さ</sup>いていました。

「なんの花<sup>はな</sup>かしらん。いつてみてから、お家<sup>うち</sup>へかえりましょう。」と、子<sup>こ</sup>ちようはとんでいきました。きれいな花<sup>はな</sup>に見<sup>み</sup>えたのは、でんとうのあかりでした。外<sup>そと</sup>へ出<sup>で</sup>ようとすると、ガラス戸<sup>ど</sup>につきあたりました。

「やあ、しまった。」と、子<sup>こ</sup>ちようは氣<sup>き</sup>をもみました。

「きれいなちようちようだなあ。」

「まあ、きれいなちようなこと。」

そのとき、こういう子供たちのこえがきこえました。

「僕つかまえて、ピンでとめておこうかな。」

「正ちゃんおよしなさいね。かわいそうだから、にがしておやり。」

「僕、お兄さんのように、ひようほんをつくるのだ。」といって、弟の正ちゃんは、窓の下にいすを引きずってきました。

「ねえ、正ちゃん、にがしておやり。」と、光子さんはなみだぐみました。

「子ちようはにげようと思つて、はばたきをしました。」

「わたし、お父さんからもらった小刀をあげるから、にがしておやり。」と、光子さんはいいました。

「ほんとうにくれる。じゃ、にがしてやるよ。」

「子ちようは、あやういところをたすかりました。」

「お家へかえつて、そのことを、母ちようにはなしました。母ちようは、かわいい子ちようがたすけられたのをよろこびました。そうして、母ちようは、」

「かんしんなお嬢さんじょうさんの美しいお目めがますます美しくなりますように。」といって、いのりました。

「あのやさしいお嬢さんじょうさんのかみのけがもつと長くたくさんになりますように。」と、子こちようもいのりました。

すると、この話はなしをきいた花はなたちまでが、かんしんして、いっしょにいのりました。



# 青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 10」講談社

1977（昭和52）年8月10日第1刷発行

1983（昭和58）年1月19日第6刷発行

※表題は底本では、「花《はな》とあかり」となっています。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：仙酔ゑびす

2012年2月19日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www.aozora.gr.jp/>）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 花とあかり

小川未明

2020年 7月18日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>